様

吸引処置（気管）実施マニュアル

大垣市民病院

【＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様の吸引処置について】

《基本事項について》

【手技】

１.吸引方法は**気管からの吸引**です。

【物品】

２.吸引用カテーテルの種類は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿サイズは＿＿Fr

3. 消毒用エタノール（気管吸引後のカテーテル内の消毒・乾燥）

4. 蒸留水又は煮沸水（気管用）

5. その他

入手方法：□地域のかかりつけ医　□大垣市民病院＿＿＿＿＿＿外来窓口
□その他（　　）

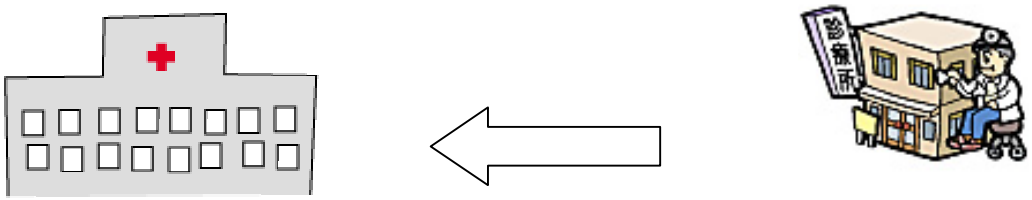
かかりつけ医：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（医院・クリニック）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿先生　　電話：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

訪問看護ステーション：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＊トラブルが生じた場合は、訪問看護師や当院または地域のかかりつけ医にご連絡ください。かかりつけ医で対応不可の場合は、診療情報提供書（兼）医療処置等地域連携依頼書を使った受診予約を取って頂いてください。予約は大垣市民病院よろず相談センター地域連携部門が対応させて頂きます。



地域連携システムによる医療交換の受診予約（ＦＡＸ）

自宅で吸引処置をされる方へ

【気管内吸引について】

Ⅰ．必要物品

１．吸引器　（購入もしくはリースする。）
　＊購入の場合、各市町村からの助成金を受けられます。
２．ピンセット　（薬局・薬店で購入できます。）
３．吸引カテーテル（退院時 1 週間分お渡しします。それ以後は受診時医師に処方してもらいます。）
４．気管吸引用蒸留水（煮沸水でも可）
５．消毒用エタノール（気管吸引後カテーテルの消毒・乾燥）
６．アルコール綿（薬局・薬店で購入できます。）
７．ピンセット用保存容器（ピンセットを立てて半分くらい入る空き瓶など）
８．吸引カテーテル保存容器：２個（口鼻用と気管用：カテーテルが入る大きさの物）
　＊湯で洗浄もしくは煮沸できるような、硬めのプラスティックまたはガラス瓶がよい。
９．吸引カテーテル洗浄用水を入れる容器
10．使い捨て手袋（使用される場合は薬局・薬店で購入できます。）

Ⅱ．方法

１．必要物品がそろっていることを確認します。
２．手を石鹸で洗う。もしくは手指消毒薬で消毒をする。
３．手袋をはめます。（手袋は、はめてもはめなくてもよいです。）
４．吸引する前に患者に必ず吸引することを告げる。
５．吸引器のスイッチを入れ、吸引器のゴム管と吸引カテーテルを接続して水を通して吸引できるかを確認します。
吸引圧は 120mmHg を越えないように調節します。（吸引圧は機器により異なります。）

（図１）

６．　清潔操作で行うため吸引カテーテルはピンセットで持ちます。（図１）
７．　吸引カテーテルを親指で押さえて折り曲げ、吸引圧がかからないようにして、ピンセットでゆっくり吸引カテーテルを３～10ｃｍ入れます。ピンセットの先は清潔、持つ部分は不潔扱いとなります。
８．入れたら吸引カテーテルを押さえていた親指を離し、吸引カテーテルを回転させながらゆっくりと抜きましょう。1 回の吸引は 10 秒以内にして下さい。
９．吸引後の吸引カテーテルの外側はアルコール綿で付着物をふき取り（図２）、その後水を十分通してカテーテルの内側の付着物を取り除き（図３）しっかり乾燥させます。

（図２）

（図３）

10．吸引カテーテル内側の消毒・乾燥のために、消毒用エタノールを少量吸引します。

11．カテーテルをゴム管からはずし、カテーテルとピンセットをそれぞれしっかり乾燥した各保存容器に入れます（図４）

（図４）

12．終了後に手袋をはずします。

Ⅲ．注意事項

【手技について】

１．吸引の前後は必ず石鹸を使用し、流水で手を洗いましょう。

２．清潔操作で行いましょう。

３．カテーテルが入らないときは、無理やり押し込まないようにしましょう。

【観察について】

４．　吸引中は呼吸状態（息を止めていないか、苦しそうでないか）、顔色（白っぽくないか、赤くないか）、唇の色（紫色になっていないか）の観察を行ってください。

５．１回で吸引できないときはあせらず落ち着いて行いましょう。患者の呼吸が落ち着いてから、再度行いましょう。

６．吸引前後は、痰の量・性状・色（黄色・緑色・ピンク色・血性等）呼吸の音、呼吸状態、脈、顔色、唇の色の観察をしましょう。

Ⅳ．その他

・吸引カテーテルは原則１日１回新しい物に交換し、燃えるゴミ（地域の指定に従ってください）に捨ててください。

・吸引物はトイレに捨てて、吸引瓶は毎日流水で洗浄してください。

・カテーテル保存容器は、毎日湯で洗浄するか耐熱性の物であれば煮沸消毒を行って、しっかり乾燥させてください。

・吸引器側のゴム管は少なくともは１ヶ月に１度、又は汚染時にミルトンかキッチンハイターで消毒し、よくすすいでください。

・患者の様子が異常（いつもと違う）と感じたら速やかにかかりつけ医師や訪問看護師に連絡するか、受診をしましょう。

医療処置管理票

〈気管内吸引〉

現在、実施している吸引は以下のとおりです。

１．　医療器材

□吸引器　（　　）

□ピンセット

□その他　（　　）

２．　衛生材料

□吸引用カテーテル（種類：　　太さ　　Fr）

□消毒液（　　本）

□蒸留水

□その他（　　）

３．　自己管理能力

□自己管理できる　（　　）

□一部援助が必要　（　　）

□全面介助　（　　）

４．　その他（入院中の行った指導、トラブルの対処方法など）

〈吸引手技自己評価チェックリスト〉

A･･･看護師の援助なしでできる
B･･･看護師の援助によりできる
C･･･看護師が実施

内　　容	／	／	／	／	／
１．必要物品の準備ができる					
２．石鹸で手を洗う、又は手指消毒薬で手指消毒することができる					
３．吸引前に、患者に声かけができる					
４．吸引器の電源を入れて、吸引圧を調節できる					
５．吸引器側についているゴム管と吸引カテーテルを接続できる					
６．カテーテルの接続部を指で押さえ鼻又は気管へゆっくり挿入できる。気管内吸引は清潔操作で行う。					
７．挿入後は指を外し、痰を吸引できる					
８．吸引した痰の観察（色、性状など）ができる					
９．１回の吸引時間は 10 秒以内を目安にできる					
10．吸引カテーテルの外側に付着した痰をアルコール綿で取り除くことができる。					
11．吸引カテーテルの内側に付着した痰をしっかり取り除くため、水を十分通し、しっかり乾燥することができる。					
12．吸引カテーテルを乾燥した保管容器に入れることができる					
13．吸引器の電源を切り、後始末ができる					
14．吸引前後に、患者の状態観察ができる					